

TECH未来通信

2022.APR
VOL.049



〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1
東京学芸大学内20周年記念飯島同窓会館1階
042-316-6645 ✉info@techmirai.jp

TECH未来担当のメンバーが増えました!

TECH未来担当新メンバーからのご挨拶

新年度が始まりましたね。TECH未来担当にも、この春から仲間が増えました。大林要介（おおばやし ようすけ）さんです！これからよろしくお願いいたします！

—自己紹介をお願いします！

この度、STEAMインストラクターに就任いたしました大林要介です！東京学芸大学大学院連合学校教育学研究所（博士課程）で技術教育の研究をしながら、都内の中学校で非常勤講師として技術分野の授業も担当しております。出身は宮城県で、2020年の4月に上京し、東京での生活は3年目になります。至らない点も多々あるかと思いますが、よろしくお願いいたします！

—技術教育に興味をもったきっかけは何ですか？

技術教育の道に進もうと思ったきっかけは10年前で、高校2年生のときでした。進路学習の一環として、興味のある分野の大学に行って、大学の先生からお話を聞くという機会がありました。その時は「教育関係の道に進みたいな」とざっくりとしか考えていませんでしたが、そこでたまたま技術教育の先生とお話したのがきっかけです。それまでは技術分野の学習というと「何か作る」というイメージしかありませんでしたが、その時に技術の可能性や技術が果たす役割の側面についてお話を聞き、「おもしろそう!」と思いました。一方で、原子力発電の安全性に関する問題や、医療技術の進展と倫理的課題など、新たな技術が登場することで生じる（見えてく

る）側面もあります。そのような2つの側面を踏まえながら、これからの技術について考えてみたいと思い、技術教育の道に進もうと思いました。

—大林さんが思うTECH未来の魅力は何ですか？

子どもたちが試行錯誤しながら、考えたことを形にできる点だと思います。歯車の組み合わせ方や、回路の構成、パーツの取り付け位置など、頭の中で描いたり図に表したりしたものを実際に形にしてみても、すぐに確かめられる点がいいなと思っています。時には構想や設計の段階に戻りながら、振り返りつつも一つ一つ前に進める点がTECH未来の魅力です。

また、他の学校の生徒さんの活用力コンテストなどの取り組みを見て、「TECH未来でこんなこともできるんだ!」といった刺激を受けています。同じパーツからさまざまなアイデアが生まれるというのも、また魅力の一つだと思います。

—今後の抱負をお願いします！

TECH未来の中でも、特に情報の技術に関する内容を中心に活動していく予定です。すでに公開されている信号機や自動運転の内容の他にも、コントロールボックスと各種パーツを使って、さまざまな問題解決に取り組めるのではないかなと考えています。

先生方のお役に立てるよう、また先生方との交流を通じて自分自身も成長できるよう、頑張りたいと思います！改めまして、どうぞよろしくお願いいたします。



編集後記

これから一緒に頑張りましょう、どうぞよろしくお願いいたします！